

## 令和5年度学部1年次生短期海外派遣プログラム支援事業

富山大学では、教育における戦略の1つとしてグローバル人材の養成を掲げています。「学部1年次学生の短期海外英語研修」は、教養教育院で修得した語学力により、短期海外英語研修において高度な知識や諸外国の習慣を身につけさせ、広い国際的視野をもって学部専門教育における学修につなぐことを目的で実施しています。令和6年2・3月に、2週間から4週間の短期海外派遣プログラムを実施し、参加費の一部を富山大学基金から支援しました。研修先は、ニュージーランド オークランド大学、マレーシア トUNK アブドゥルラーマン大学、台湾 開南大学で、1年生58名が研修に参加しました。

令和6年4月17日に帰国報告会が開催され、プログラム参加学生のうち3名が発表し、それぞれニュージーランド、マレーシア、台湾での研修内容、グループワークでの意見交換・発表、ホストファミリーや学生サポーターの人の温かさや優しさ、キャンパス周辺や町の雰囲気などの感想を述べました。また、質疑応答では、短期留学と交換留学への希望、留学先の治安、休日観光の決定方法や令和6年度短期派遣プログラムの派遣先等の質問があり、新1年生の関心の高さがうかがえました。



## 留学体験記：学生海外留学支援事業(留学中)

人間発達科学部 人間環境システム学科 4年 板坂 柚果  
留学先：マーレー州立大学(アメリカ)



同じ授業を履修する友達と

この度は、学生海外留学支援事業の奨学生として支援いただき、誠にありがとうございます。私は、協定校であるアメリカ・ケンタッキー州のマーレー州立大学に交換留学中です。現地の学生に混じり、存分に学業に専念できる日々は刺激的です。中でも現地の教員を目指す学生と、教育制度や学校文化、教員に必要な資質について議論し、多様性を重視するアメリカの教育の支援や配慮の幅広さから多くを学んでいます。

また、他国からの留学生や現地の学生との出会いも貴重なものです。互いの国の料理を振る舞ったり、寮対抗のスポーツリーグに参加したり、部活動の応援に行ったりと、言語の壁を超えて同じ時間を共有したことは一生の思い出です。Comfort zoneを抜け出した先で、初めて自文化や志向性を見直すことができ、多様な視点を育むことができる体感をしています。今後は、世界中の人と意思疎通を図るツールとして、英語学習の意義を伝えられるよう、日々精進していきます。



キャンパス内男子バスケ会場

## ●寄附者様ご芳名一覧(令和5年10月～令和6年3月)

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

### 【個人】(50音順にて記載)

井川 善也 池田 真行 岩田 武男 大久保治修 片岡 弘 河合 健 齋藤 滋 齊藤 大紀  
清水 友郎 XIE BINGXIN 菅田恵理子 杉田 昇 高井裕希永 高木 繁雄 竹越 栄俊 竹村 茂雄  
竹村 樹里 武山 良三 谷口 祐樹 戸田 英樹 中尾 哲雄 長坂 保彦 長津 輝彦 萩原新之介  
平井 善信 廣瀬 晴子 伏喜 俊至 細川 勉 増田 一敏 松浦 洋一 水野真理子 宮島 光志  
本川 佳彦 (ほか公表辞退 21名)

### 【企業・法人等】

一般財団法人立仁会 一般社団法人富山大学出版会 株式会社毎日コムネット 株式会社ユニゾーン  
富山大学生生活協同組合 武先生お別れの会 青冥の会 (ほか公表辞退 6社)

## ●令和5年度 グローバルSDにおける海外派遣支援

富山大学基金事業の一環である、令和5年度富山大学グローバルSD研修の研修生として、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。令和5年11月にベトナムのホーチミンとハノイで開催された日本学生支援機構主催の「日本留学フェア」に参加しました。「日本留学フェア」では、主に留学希望者に対し、本学で学ぶことができる分野や入試制度等の説明をしました。

普段の業務では理工系大学院に関する教務事務を担当しています。理工系大学院には、外国人留学生が多数在籍しているため、留学生の対応をすることが多々あります。普段関わる留学生がなぜ富山大学を選んだのか、現地で感じ取るとともに、留学希望者に対し富山大学や富山県をアピールすることを通じ、改めてその良さを発見し、業務に生かすことを目標に研修に参加しました。

今回が初めての海外渡航ということもあり、学ぶことばかりで、特に外国の方とのコミュニケーションに対する考え方は研修を通じて大きく変わりました。研修前は、語学力が最も重要であると考えていましたが、伝えたい内容を充実し、なるべく簡潔に伝えようすることがより重要であり、これらを心がけるとスムーズにコミュニケーションを取ることができると感じました。研修で学んだことを念頭に置いて業務にあたるよう心がけ、留学生対応の際は、誤解を生まないよう簡潔な日本語、もしくは英語を用いてコミュニケーションを取るよう努めています。今回学んだことを生かし、富山大学に貢献できるよう精進してまいります。(理工系学務課 K.T)



## ●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和5年10月～令和6年3月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	51件	12,425,178円
うちりサイクル募金	5件	6,876円
修学支援基金	28件	1,954,000円
研究等支援基金	7件	75,000円
合計	86件	14,454,178円

## ●「経済学部基金」を新設！

令和6年4月、富山大学経済学部の基金を設置しました。これで富山大学基金は7種類となりました。詳しくはWebページをご覧ください。

- 富山大学基金(一般)
- 修学支援基金
- 課外活動支援基金
- 経済学部基金
- 研究等支援基金
- 工学部基金
- 医学部基金

## ●富山大学、メルマガはじめました！



毎月、富山大学の最新情報をお届けします。

## ●富山大学 学生に対する災害対応支援金給付事業

令和6年1月1日に発生した、能登半島地震による学生や学資負担者が被災した学生に対し、緊急的に経済的な支援を必要とする対象者に支援金の給付を行いました。

また、富山大学学生に対する災害対応支援金給付事業実施要項を制定(R6.3.8)し、災害対策基本法第2条第1号に規定する「災害」(暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事等)にも支援を行います。

支援内容 (令和6年1月～3月末 申請・支援者)	学部生・院生
家屋が全壊した者 10万円	4名
家屋が半壊した者 8万円 (大規模半壊及び中規模半壊を含む。)	8名
家屋が一部損壊(準半壊を含む。)した者 5万円	16名
学資負担者が死亡又は行方不明となった者 10万円	—

※支援に関する手続きは、学務部学生支援課または各学部教務にご相談願います。

## ●寄附者からのご意見

- ・能登半島地震関連の補助に役立っていただければ。
- ・御大学ならではの魅力をこれからも発信し続けてください。

